

認知症に関する活動計画（概要）

福岡県作業療法協会では、保健福祉部内に認知症作業療法推進委員会を設置し、保健福祉部理事を含めて6名で活動をしている。活動は、「認知症アップデート研修」をはじめとした研修の開催、会員に対する最新知識の普及活動を実施している。今後は、地域活動などとのつながりを深め、並行して、地域活動が出来る作業療法士の育成、県士会員のつながりの強化を図る活動を継続的に実施していきたい。

会員向け研修事業

令和4年1月27日に「認知症になっても自分らしく暮らすために作業療法士ができること・求められること」と題して、福岡市保健福祉局高齢者社会部認知症支援課長笠井浩一氏と京都橘大学小川敬之氏を講師にお招きし、研修会を実施した。（参加者57名）

令和4年9月2日（金）には、地域在住の認知症の人と介護家族等への支援に向けた検討会と題し、令和健康科学大学の谷川良博氏を講師にお招きし、会員参加者と作業療法士が地域貢献できる事業や取り組みについてグループディスカッションを行い、会員通しでの情報交換の場として研修会を予定している。

地域在住の認知症の人と介護家族等への支援に向けた検討会

検討会の概要
福岡県作業療法協会の保健福祉部・認知症作業療法推進委員会では、認知症の人と家族への地域支援において、作業療法士が貢献できる事項について検討しています。会員の中には、地域の協賛支援、地域貢献に関心がある方も多くいます。方法論に困っている方が多いと聞きます。今回の検討会では、そのような会員に集っていただき、その実現に向けた意見交換を行うことを目標としています。そして、今後、具体的な取り組みを考えるグループを創設したいと考えています。地域貢献をしよう、地域づくりについて語り合いと考えている方のご参加をお待ちしています。 都甲野太

①検討会の企画立案と今後の開催 19時～19時15分
福岡県作業療法協会 保健福祉部 理事 都甲野太

②認知症の人の地域支援の実践例 19時20分～20時00分
令和健康科学大学 谷川良博 氏

③グループワークとまとめ 20時05分～20時55分
「地域支援で何をしたいか？何が出来るか！」

検討会の内容
①福岡県作業療法協会との自治体連携と課題について確認します。
②認知症にやまいる図書館や多世代交流を実施している事例を紹介いたします。
③参加者の発案の場です。実現したい事や内容を紹介してください。

日時 令和4年9月2日（金）19時～21時
方法 オンライン研修（Zoom）
定員 20名
対象 福岡県作業療法協会会員 または 作業療法士学生
お申し込み後、会員登録や協賛費の会員登録を確定させていただきます。
※会費や協賛費の納入は、お申し込み後、必ずおこなってください。ご不明な点はお問い合わせください。
※お申し込み後、必ず「会員登録」欄を「予定」と明記し、「所属」は「学生名」を記載してください。その他の注意事項は別途お知らせいたします。
申込 申込受付コード、締切中。下記URLより申し込みます。
締切 令和4年8月21日（月）

市町村事業などへの協力体制の構築 事業

各市町村での協力体制の構築を目指し、認知症関連の地域事業の状況把握を適宜実施している。また、行政から協力依頼があった際は、スムーズに人材派遣が行える体制作りや会員への情報提供を目的として、会員希望者のメーリングリストを作成している。

「福岡オレンジパートナーズ」への登録

福岡オレンジパートナーズとは、認知症の人とその家族、企業、団体、医療。介護。福祉事業者、行政で構成し、認知症について自主的に「知る」「考える」「つながる」「行動する」ためのコンソーシアムであり、認知症になっても自分らしく生きるために何が出来るかを考え、実際の取り組みにつなげることを目指している。担当課長による研修会を実施するとともに、協会として団体登録を行なった。



COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

委員会活動や研修事業は全てオンラインで実施している。オンラインの特性を生かしながら、収束後は、スムーズに対面事業に移行ができるように整備をしていきたい。